つくる。つつむ。つなぐ。
東京佼成ウインドオーケストラ

#167 Subscription Concert

第167回 定期演奏会

マスランカ・チクルス Vol.2

ブーレスク風ロンド
(1972年委嘱作品)／伊福部 昭
Rondo in Burlesque for concert Band／Akira Ifukube

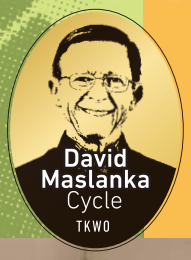
交響曲第9番／D.マスランカ
Symphony No.9／David Maslanka

1/11 2025 SAT

開演:18:30
(開場:17:45)

なかのZERO 大ホール

〒164-0001 東京都中野区中野2丁目9番7号 TEL:03-5340-5000(代表)



指揮　大井剛史(常任指揮者)
Takeshi Ooi, Conductor

ピアノ　鈴木慎崇
Yoshitaka Suzuki, Piano

語り　チャールズ・グラバー
Charles Glover, Narration

演奏　東京佼成ウインドオーケストラ

©Ayane Shindo

©Atsushi Yokota

Tokyo Kosei Wind Orchestra

©Ayane Shindo

TICKET(全席指定・税込)　一般:¥5,000　U25:¥2,500

◀ 25歳以下の方のための割引サービスです。
公演当日は年齢を証明できるものをご持参ください。
取り扱い:TKWOチケットサービス なかのZEROチケットセンター

会員先行:2024/9/24(火)
一般発売:2024/9/30(月)

東京佼成ウインドオーケストラ チケットサービス

WEBチケットサービス　いつでも予約可能!　※定期メンテナンス 毎日3:00−4:00

座席指定　クレジット決済　電子チケット　コンビニでの支払・発券

TEL
03-5341-1164
[9:30−16:30 土・日・祝を除く]

プレイガイド
◉チケットぴあ
◉ローソンチケット
◉e+(イープラス)
◉なかのZEROチケットセンター
03-3382-9990(10:00−19:00)
https://nicesacademia.jp/

※未就学児のご入場はご遠慮ください。※出演者・曲目・時間等は変更になる場合がございます。※お申し込み後の変更・キャンセルはお受けできません。
※公演中止の場合を除き、払い戻しはいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

主催 ： 一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ
共催 ： なかのZERO指定管理者
後援 ： 一般社団法人全日本吹奏楽連盟、公益社団法人日本吹奏楽指導者協会、公益財団法人日本音楽教育文化振興会、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、日本コロムビア株式会社、株式会社テレビマンユニオン

助成 ： 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会
公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 [東京芸術文化創造発信助成]

東京佼成ウインドオーケストラ事務局
TEL 03-5341-1155
https://www.tkwo.jp/

マスランカ・チクルス Vol.2

中橋愛生（TKWO楽芸員）

今回の曲目は2曲。曲数こそ少ないが、その密度は他の定期公演に勝るとも劣らない。今シーズンより開始されたTKWOの新コンセプトを象徴するプログラムと言えるだろう。

「つなぐ」。過去委嘱作品の再演の機会を積極的に設ける、という指針を受けて演奏されるのは、TKWO委嘱作としては最古の部類に入る1972年作の伊福部昭『ブーレスク風ロンド』。伊福部といえば映画「ゴジラ」シリーズの音楽でも知られており、そのなかに現在では自衛隊が登場するときのBGMの印象が強いマーチがある。これは元々1943年に旧帝国海軍の依頼で作られた吹奏楽曲『吉志舞』が転用されたもの。それを更に大規模に改作したのが、今回演奏される『ブーレスク風ロンド』だ。伊福部がこの旋律を映画で用いる際に「軍隊色が出ることを避けるために弦楽器を多用した」というのは有名な逸話だが、それはかつての「野外で演奏される実用音楽たる吹奏楽」の響きを忌避した、と考えてよいだろう。それを、『吉志舞』から約30年経って再び吹奏楽に託した伊福部の想いは如何なるものだったろうか。そこから更に約50年。現代の交響吹奏楽の響きで受け止め、つなげたい。

そして、もう1曲が「マスランカ・チクルス」として演奏される『交響曲第9番』。チクルスとしては大井の常任指揮者就任記念演奏会での『交響曲第2番』に続く2曲目だが、定期演奏会での選曲は初となる。2011年に作られた『交響曲第9番』は、規模が大きいものが多いマスランカの楽曲のなかでも特に長大な演奏時間75分の大作である。反戦や環境保全を訴えていたことでも知られる詩人W.S.マーウィンの詩「秘密」の朗読より開始され、信仰・時間・記憶・水・生命・自然・寛容・休息といった様々な観念的イメージに基づいた音楽が展開される。その先にあるのはマスランカ本人の詩「鯨の物語」に導かれる第4楽章。そして40分近くに及ぶ終楽章はバッハのコラール『おお、血と涙にまみれた御頭よ』に辿り着く。大編成を活かすシーンもあるが、室内楽的な静謐さに支配されるこの作品は、旧来の吹奏楽のイメージを覆す。その場で共感せねば得られないものが多いだろう。随所で重要な役割を果たすピアノを担当するのが室内楽奏者としても評価が高い鈴木慎崇なのにも注目だ。

旧来の吹奏楽とは異なるアプローチを導くことができるのは、吹奏楽を熟知している者。大井が伊福部とマスランカから引き出す吹奏楽の新たな世界が、ここにある。

〈敬称略〉

PROFILE

大井 剛史（常任指揮者） *Takeshi Ooi, Conductor*

©Ayane Shindo

東京佼成ウインドオーケストラ常任指揮者。東京藝術大学指揮科卒業、同大学院指揮専攻修了。2008年アントニオ・ペドロッティ国際指揮者コンクールで第2位入賞。ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉（現・千葉交響楽団）常任指揮者（2009～2016）、山形交響楽団指揮者（2009～2013）、同正指揮者（2013～2017）、東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者（2014～2024）を歴任。このほか全国の主要オーケストラを指揮している。東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師（吹奏楽）。尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。

鈴木 慎崇（ピアノ） *Yoshitaka Suzuki, Piano*

札幌市出身。東京藝術大学音楽学部卒業。全日本学生音楽コンクール、日本音楽コンクールにて、それぞれ第1位。ソリストとしてさまざまなオーケストラと共演。室内楽の分野においてリサイタル、FM、CD、配信などで数多くの演奏家と共演。国内外の音楽祭、コンクールなどで公式伴奏者をつとめ、高い評価と信頼を得ている。オーケストラの演奏会にて鍵盤楽器奏者として度々出演。アンサンブルピアニストとしての活動は多岐に渡り、東京混声合唱団とも数多く共演している。現在洗足学園音楽大学非常勤講師。

チャールズ・グラバー（語り） *Charles Glover, Narration*

アメリカ・ニューメキシコ州出身。ニューメキシコ州大学美術学科卒業後、ニューヨーク大学大学院俳優科に進む。その後、ニューヨークを中心に俳優としてテレビ、映画、舞台での活躍の他、平和部隊のボランティア活動、ミクロネシアでの政府の仕事に関わるなど、文化交流にも貢献。現在は、NHKテレビとラジオ番組でアナウンサーのレギュラーをつとめる傍ら、声優、CMナレーション、大学のマスメディア特別講師、写真家など多方面で活躍。映画やテレビでは俳優として確固たる評価を獲得。英語、日本語、スペイン語、ミクロネシア語（チューク）も堪能。

東京佼成ウインドオーケストラ *Tokyo Kosei Wind Orchestra*

©Atsushi Yokota

1960年5月「佼成吹奏楽団」として発足し、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称。2022年4月より「一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ」として活動する日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し 高い音楽芸術性を創出し、多くの人が楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。 また多くのレコーディング、メディアを通し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。

ACCESS

〒164-0001 東京都中野区中野2丁目9番7号
TEL：03-5340-5000（代表）
◉JR・東京メトロ東西線 中野駅南口より徒歩8分

第4回

TKWO 吹奏楽カフェ

第167回定期演奏会の聴きどころや楽曲について、
常任指揮者 大井剛史と楽芸員 中橋愛生による
トークセッションで解説いたします。

2024年12月18日［水］19:15開店

管楽器専門店ダク「スペースDo」
（最寄駅「新大久保」駅）

料金 **2,500**円（税込）

■ 共催：管楽器専門店ダク

詳細はこちら ►
「TKWO吹奏楽カフェ」
特設ページ

〈お問い合わせ〉 **東京佼成ウインドオーケストラ事務局** TEL 03-5341-1155 https://www.tkwo.jp/